

平成25年度第3回徳島市行財政健全化市民会議

会議録（要約）

平成25年11月13日（水）午後3時から午後3時30分
徳島市役所 8階 庁議室

1 開会

2 議題

「徳島市行財政健全化市民会議意見書」について

（委員）

それでは次第により、会議を進めます。

委員の皆さまには、現在、市が策定している新たな計画につきまして、これまで、2回にわたり、市民会議においてご議論いただきました。

その時のご意見、ご提言を「徳島市行財政健全化市民会議意見書」として取りまとめましたので、本日、市へ報告したいと思えます。

（事務局）

それでは、会長から意見書をいただきたいと思えます。

なお、本日、市長が、他の公務と重なり、出席できなくなりましたので、第一副市長が、代理で受け取らせていただきます。

（委員）

私ども徳島市行財政健全化市民会議は、8月29日、10月28日の2回にわたり会議を持ち、委員の皆さまからご意見、ご提言をいただきました。本日、それらを取りまとめ意見書としました。本意見書の内容を「何々力」として4つの基本方針に基づき、かいつまんで申し上げますと、基本方針1は、都市力の拡充、基本方針2は組織力、職員力の向上、基本方針3は住民、市民力の発揮、基本方針4は財政力の強化ではないかと思えます。

こういったことを踏まえまして、新たな計画の中に、できるだけ多くを反映させ、そしてスピード感を持って、積極的に取り組んでいただき、より良い徳島市にさせていただきますよう強い願いを込めて、本意見書をお渡しさせていただきます。

————— 会長が、第一副市長に意見書を手渡す。 —————

(事務局)

みなさま、どうもありがとうございました。

(委員)

先ほど申し上げましたように、これまで2回にわたりまして、委員の皆さまから、貴重なご意見、ご提言をいただきました。限られた時間ではありましたが、幅広い分野におきまして、熱心なご討議の結果、充実した意見書を取りまとめることができました。委員の皆さまに対しまして、厚く御礼申し上げます。

意見書の概要につきまして、簡単に申し上げますと、基本方針1「徳島東部地域をリードする拠点都市の創造」につきましても、いま、非常に重要なターニングポイントであるかと思えます。平成26年に徳島インターチェンジまで直結する四国横断自動車道を大きなチャンスととらえ、積極的に施策を実行することによって都市力を高めていってほしいと思います。

基本方針2「加速する地方分権に向けた行政運営システムの構築」につきましても、市民の期待に応えうる職員の育成に努めていただきたいと思います。活力と緊張感に満ち溢れた職場風土の醸成が求められると思います。

基本方針3「市民とのパートナーシップのさらなる推進」につきましても、住民の合意形成への努力と住民の行政への関心を高め、さらに協力を強める、パートナーシップの構築が必要かと思えます。

基本方針4「柔軟に対応できる行財政基盤の確立」につきましても、行政コストの削減と市民サービスの向上の相矛盾した課題解決に向け、あらゆる知恵を絞っていただきたいと思います。

要約しますと、基本方針1は都市力の拡充であり、「伸ばす」がキーワードになると思います。

基本方針2は、組織力、職員力の向上であり、「磨く」がキーワードかと思えます。

基本方針3は、地域の住民力の発揮であり、「引き出す」がキーワードかと思えます。

基本方針4は、財政力の強化であり、「築き上げる」がキーワードかと思えます。

いずれにおいても、重要なことは、施策推進への強いリーダーシップ、スピード感、市民の理解と協力、関係市町村との連携強化が重要だと思います。

徳島市の皆さまにおかれましては、本意見書の内容を十分にくみ取っていただき、新たな計画の中に、できるだけ多く、そして積極的に、反映と実践をお願いするところでございます。よろしく申し上げます。

(委員)

それでは、各委員さんから、なにかございましたら、一言いただきたいと思います。

(委員)

私としては、職員の方が、優しく応対してくれて、非常にいい市役所だと感じております。外部で仕事をされている方の姿を見ても、よくやってくれていると思います。

今回、外部委託の推進ということで、意見がありましたが、一気に推し進めるのではなく、段階的に推進していったらと思います。

また、教育面についても、他県では、いじめの問題などが出ていますが、昔は3世代同居で、おじいさん、おばあさんが孫の世話や教育をしていました。また、近所の子どもが悪いことをしたら怒るとか、ご近所づきあいの中でも自然と教育ができていました。徳島市も何らかの方針を立てて、3世代同居の家づくりを応援するとか、地域での取り組みを応援するというようなことをやっていただきたいと思います。

(委員)

AWAおんなあきんど塾などの社長さん30人くらいのお話を聞いたとき、子育てを同居しているお母さんとかお父さんが手伝ってくれるから、これだけ社長業にまい進できるという声が非常に多かったです。子育ての時期、子どもの面倒を見てくれる人がいるということは、社会活動、女性パワーを活かすうえで、非常に重要な要素じゃないかと思っています。

(委員)

今年の8月に総務省から、公営企業会計の見直しというものが出されました。公営企業の3分の2くらいはまだ、複式簿記になっていない。貸借対照表などをつくらないと、財政状態とか経営成績とか資金の流れとかがわかりにくい。そこで、例えば職員の方が日商簿記2級以上は合格するなどの取り組みを行い、特に公営企業についてはできるだけ複式簿記を導入して財務諸表を作って欲しいと思います。

(委員)

この会議に参加させていただいて、皆さんの意見を聞いていると、専門的に発言してくれた方、自分の立場とか仕事の上で発言された方など、私個人では気づかない点があるところがありました。非常によい意見書ができたと思います。

(委員)

私からは一言。女性が元気な徳島市。女性がいきいきと働ける徳島市。これは職員面からもそうですが、市民力の面でも女性が本当に輝いている徳島市を作っていただきたいと思います。いろいろな分野で女性が活躍できる徳島市を作っていただきたいと思います。

(委員)

徳島市が今後どのような形で生き残っていくかという問題があると思います。市町村間の競争により、住民の方から選別されるという事態が起こってきていると思います。とくしまマルシェとかマチアソビとか新町川を守る会の活動など、そういった活動を育て、競争を勝ち抜いていくことが必要だと思っています。

(委員)

これまでの社会というのは、サービスを提供する側と受ける側という関係ができていましたが、これが成り立っていない社会というのが、もう来ていると思います。処遇する側と処遇される側ではなく、お互いがお互いの能力が落ちた部分をカバーしあう「共助」というところを、行政も育成していく必要がでてくるのではないかと思います。

(事務局)

それでは、第一副市長から一言お礼を申し上げます。

(事務局)

どうもありがとうございました。ただいま、会長から新たな計画の策定に向けまして、ご意見、ご提言をまとめた意見書をいただきました。

このご意見は、会長がおっしゃられたように、都市力、職員力、市民力、行財政力のアップについて、スピード感をもってやれと、それには、女性力を活用したり、ご老人の力を活用したりする必要があるということだと思います。

この会議を開かせていただきました基本的な目的は、市民感覚、市民目線のご意見をいただいて、計画の中に反映していくということでございます。

意見書につきましては、まずは、市長へ報告させていただき、そして、12月議会に向けて、ご意見を踏まえながら新たな計画を作成していきたいと思っております。

最後に、非常に貴重なお時間を拝借し、ご意見をいただきました。改めて感謝を申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

(事務局)

今後の予定でございますが、本日提出いただきました意見書を踏まえ、行財政力の強化に向けた新たな計画案を12月の市議会において報告する予定です。

その後、徳島市市民参加基本条例の規定に基づき、パブリックコメント手続を経て、3月の市議会に報告する予定です。

また、3月下旬には、市民会議を開催し、第2期行財政健全化計画の実績と併せて、委員の皆さまに、新たな計画について報告したいと考えております。

3 閉会

(事務局)

それでは、これをもちまして、第3回徳島市行財政健全化市民会議を終了いたします。委員の皆さまありがとうございました。